

—武蔵野市史編さん— 古文書を解読し、 武蔵野を拓いた 先人たちの ドラマを伝える

武蔵野 History

武蔵野にまつわる歴史を
楽しみながら学ぶ

武蔵野市では、膨大な量の古文書を50年かけて解読しながら市の歴史を編さんしてきました。今年3月、その最終巻となる『武蔵野市史統資料編13』を刊行。事業当初から編さん事業に携わってこられた国文学研究資料館名誉教授の森安彦さんに武蔵野の歴史をひも解く醍醐味と意義についてお聞きしました。

武蔵野市の歴史編さん事業はいつから始まったのですか？

昭和37(1962)年です。市史編纂委員会が組織され、編さん作業が始まりました。中心となったのは、國學院大学の大場磐雄先生(原始・古代・中世史)、学習院大学の児玉幸多先生(近世史)、成蹊大学の関島久雄先生(近現代史)の三氏です。8年かけて編さんし、昭和45(1970)年までに『武蔵野市史』『同資料編』『同統資料編』の3冊を発行しました。

その後も編さん事業は続くのですね。

そうです。編さん作業を通じて膨大な量の古文書が集まったのですが、『資料編』に収録できていないものがたくさんありました。それならば、すべて整理して目録を作り、書いてあることを活性化していくということになりました。

編纂委員会には先生方の助手とし

て、史学専攻の大学院修了生だった鈴木研さん、坪井洋文さん、そして私が参加していました。編纂委員会が解散した後は、武蔵野市から委託を受けた鈴木さんが数人の協力者とともに、古文書の目録作成と古文書の解読による資料編の編さん続けました。鈴木さんは、古文書の解読には長けていた方です。

その後の42年間で『統資料編』13巻、『目録編』3巻の合計16巻が刊行されました。残念ながら鈴木さんは平成20(2008)年に逝去されたので、私がおの後の4年間を引き継ぎ、最後の2巻を担当しました。

編さん作業はどのようなものですか？

『統資料編』の編さんでは、江戸時代に各村を治めていた名主・年寄役の秋本家や河田家、井口家、井野家などの古文書を解読してきました。江戸時代から大正期までが中心で、古文書の数は

むさしの今昔物語 ～市史編さん事業の巻～

50年間にわたる市史編さん事業では、古文書の保存と内容の解説に努めてきました。古文書からは地域の歴史とともに、明治期の選挙の様子など日本の政治史にとって貴重な記述も浮かび上がってきました。

昔



古文書の原本。保護用の台紙に貼り付けてあります。市では、これらの史料を題材に、昭和45年から文化財講座「古文書解説講座」も開催。古文書は、熱や光で痛みやすくコピー機にかけられないので、写真撮影で複製しています。

今



昭和37年から市史編さんを継続してきたので、古文書の散逸を防げました。『武蔵野市史』を基に「子ども武蔵野市史」といった読みやすい本も刊行。正確な史料は広がりを生みます。

武蔵野市の歴史は、江戸時代前期の寛文年間（17世紀後半）に吉祥寺村、関前村、西窪村、境村が拓かれたのが始まりです。その後、8代將軍徳川吉宗の時代（18世紀前半）になると新た



武蔵野市史全18巻

森安彦さん

国文学研究資料館名誉教授。東京教育大学大学院在学時の昭和37年に武蔵野市史編さんに関わる。昭和45年、市文化財保護委員に就任。専門は江戸時代の歴史。とりわけ庶民の生活史についての造詣が深い。



な土地が拓かれ、関前新田・境新田が誕生しました。古文書を読むと、江戸時代の村でいろいろなたまが起きていたことが分かります。

例えば、境村の秋本家の古文書を調べていると、今の埼玉県熊谷市の農村の資料がどさつと出てきました。読み進めていくと、天保年間（19世紀前半）に村を治める年寄をしていた秋本喜七が10年にわたり江戸の旗本の家来をしていたので、喜七は旗本の領地で年貢の取り立て役もしていました。その領地が熊谷の農村であり、だから秋本家の中に記録が残っていたのです。

喜七は農村の出身ですか

ら、他の武士と違い農民の気持ちが分かる。飢饉のときなどは年貢を減らすなど農民に温情をかけていました。ただ、喜七は境村の年寄の職も辞めずに、職務を息子に任せていたのでこれが村で問題になりました。

このように当時の村々では美談もあれば、騒動もあったのです。「武蔵野市は、昔は原野で何もなかったんだから、詳しい歴史なんて調べる必要はない」と言われることもありませんが、決してそんなことはないのです。

武蔵野市に残る古文書の解説にはどのような意義がありますか？

市の古文書に残る地域の歴史は、生身の人間のドラマです。興味深い史実の数々は、私たちの想像力を刺激し、武蔵野を拓き発展させてきた先人たちの存在を身近なものにしてくれます。

また、古文書からは武蔵野という地域の環境と個性が浮き彫りになります。古文書を正確に解説し、編さんすることは、武蔵野という地域の豊かさを広く伝えていくことになるのです。

武蔵野市史の編さんはひとまず終了ですが、ぜひ、市の歴史資料館を作ってください。これらの古文書を保存するとともに、市民の皆さんが地域の歴史を学ぶ機会を作ってほしいですね。